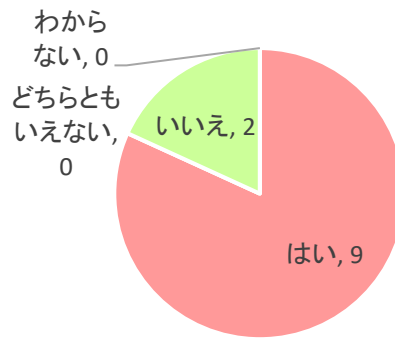


1:利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。

選択肢	
はい	9
どちらともいえない	0
いいえ	2
わからない	0



記述回答

パーテーションで区切る。

パーテーションで仕切りソファを置いてリラックスメーカーを作った事で高評価だった。

プレイルームを少し狭くして、パソコン使用時の支援員の動線を短くしました。事務室の中をパソコンルームに変更しました。

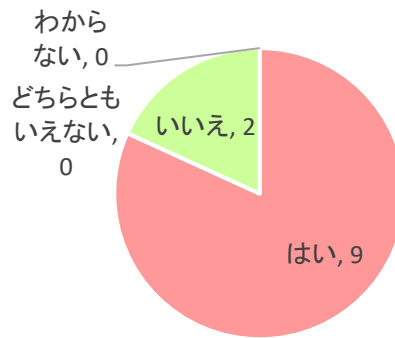
部屋数は少ないが、棚やパーテーションで仕切っている点。

利用者数に合ったカームダウンスペースの確保が難しいため段ボールや布団などで刺激を減らすようにしています。パーテーションもありますが、素材的に壊れやすいので何らかの改善は必要かと思います。

療育部屋と遊び部屋をわ分けている、クールダウン部屋が確保できるといい。

2:利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。

選択肢	
はい	9
どちらともいえない	0
いいえ	2
わからない	0



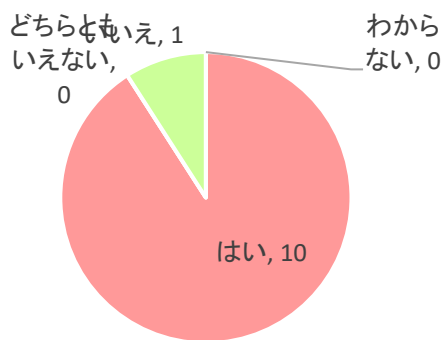
記述回答

子ども2人に児童指導員1名を配置している。
子どもたちの様子を観察して、一緒に遊べる子どもや同じスペースに居られる子ども同士を一人のスタッフが担当できるようにしています。また、スタッフと子どもの相性も観察して、子どもが落ち着ける担当スタッフを配置するようにしています。
子どもの発達に合った組み合わせを行っている。
支援のスキルに合わせて担当者を決めている。
職員の人数が不足していると感じたらすぐに報告し、募集をかけている点。
送迎を考慮して担当

利用人数に対して職員が足りず、安全性を優先するため療育とパソコン課題の両方を提供することが困難な場合がある。

3:生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	1
わからない	0



記述回答

トイレが1つしかなかったり、カームダウンスペースとしての個室がなかったり、建物の老朽化でカビや虫が発生したりと、環境や設備は適切ではないと思います。どうしても…の時には近隣のお店のトイレを借りる、送迎車を個室として利用するなど工夫をしています。

バリアフリーで刺激になるものはできるだけ取り除いている。視覚的にもプログラムや送迎車の情報もわかりやすいように貼付している。

机は刺激が少ないよう壁に向けて配置しており、遊ぶスペースと完全にわけている
刺激を受けやすい子には、壁向きの配置で机の向きに気をつけている

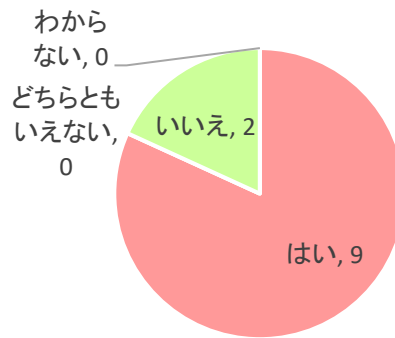
施設が建物の1階であるため、足が不自由な利用者も不自由なく利用できる点。

視覚的に理解できるようにしている。

遊び部屋・療育部屋と分けている。

4:生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。

選択肢	
はい	9
どちらともいえない	0
いいえ	2
わからない	0

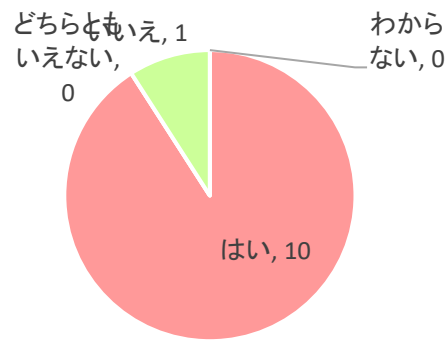


記述回答

くつろげるスペースにはソファなどを置いている
衛生面は換気や消毒などをしていますが間に合っていない。また、みんなで行うグループ活動などは控え、空間に合わせた活動を行うようにしています。
活動の内容によって部屋分けができていたので切り替えしやすい。
建物の1階であること、おやつを食べこぼしが多いこと、建物が古いことなどから蟻やゴキブリなどがいる点。
限られたスペースな為、活動的(ボール投げ等)スペースを確保するのに制限がある。
毎日掃除を行っているが、クッションフロアの劣化や汚れが目立つ

5: 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	1
わからない	0

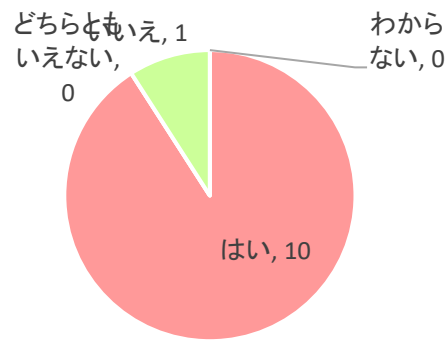


記述回答

クールダウン部屋として、事務室の一部を利用。他児がいる場合の対応が大変。
クールダウン用のパーテーションで仕切られた場所や狭い部屋がある点。
リラックスルームの他にはパーテーションで3つの刺激の少ない空間が用意されている。相談室では子供たちが報連相ができるように用意されている。
机の下なども利用しています。
個室がないため、パーテーションで仕切った小部屋を2か所用意している
個別環境が必要な子の人数によってパーテーションの配置を変えている
保健室と称した部屋を確保している。

6:業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	1
わからない	0



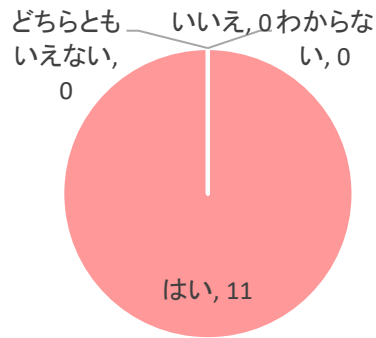
記述回答

ミーティングで周知している。
意見を言いやすい環境を整える。
課題の用意の際に個別の目標がわかるようにファイルしている

管理者と支援員の視点がずれることがあり、すり合わせが必要なことがある
業務に関してはスタッフ一人一人に責任を持って担当してもらっています。評価や振り返りはミーティング以外でも支援の前後などに気軽に話せるようにコミュニケーションをとっています。
個別での目標設定と到達の判断の面談が必要。

7:保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0

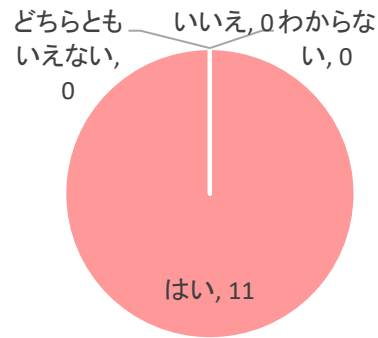


記述回答

その都度意向を精査し、できることを行っている。長期休みの時の午前預かりには対応できていない。ミーティングや日々の申し送りで共有している。定期的なアンケートを実施し、その結果を公開している点。評価表はスタッフ全員が見られるようにしています。保護者にアンケートを出して、改善につなげている。

8:職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0



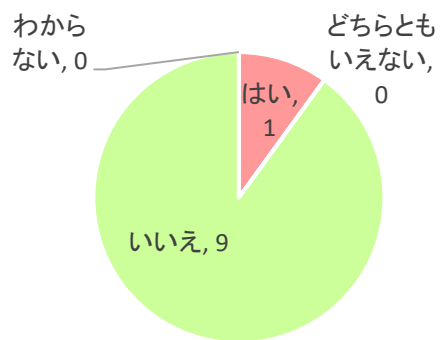
記述回答

スタッフミーティングを行い機会を設けている。
ミーティングや日々の打ち合わせの際に、職員同志で支援の共有をするようにしている

ミーティング時に機会を設けているが、意見が出ない時が多い。副責任者に窓口になってもらっている。
定期的にミーティングを行っている点。
適宜、事務室にて職員が意見を伝えに来ている。

9: 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。

選択肢	
はい	1
どちらともいえない	0
いいえ	9
わからない	0

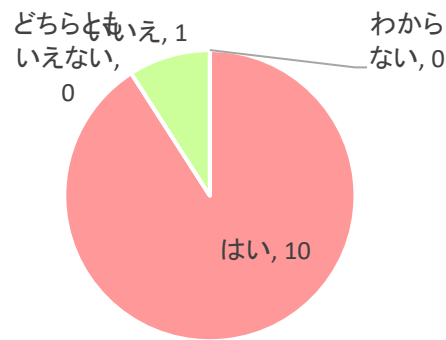


記述回答

第三者による外部評価を受けていない。
必要な事項については話し合いながら改善を行う。
不明

10:職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	1
わからない	0

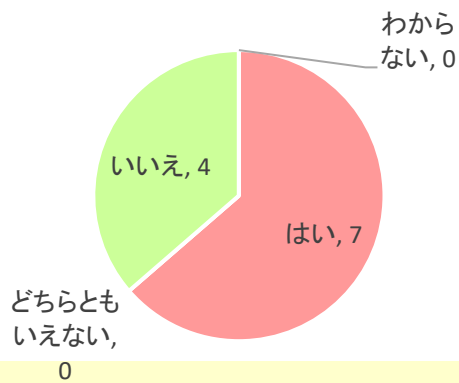


記述回答

ミーティングなどでオンラインの受講もしくは、講師を依頼することもある。
ミーティング毎に研修が行われている点。
月1回の研修を設けているが、常勤職員の外部研修を導入したい。
ミーティングの時間を利用して行っている。
毎月ミーティング時に、研修を開催している。

11:適切に支援プログラムが作成、公表されているか。

選択肢	
はい	7
どちらともいえない	0
いいえ	4
わからない	0



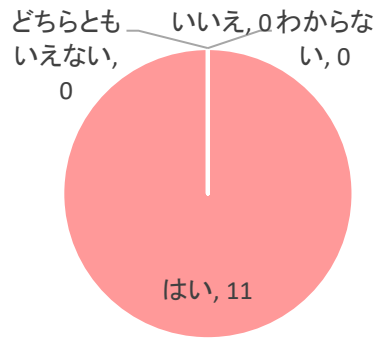
記述回答

0

ミーティングの時間に公表している。日々の活動前に確認できるように身近にファイルが置いてある。
日々追われている現実はあるが、概ねできていると思う
理念や方針を掲示している。

12:個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0



記述回答

6ヶ月毎に面談を行う。

LINE等により保護者のニーズをより把握しやすくしている点。

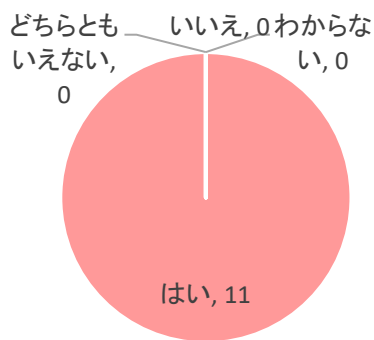
アセスメントとモニタリング、保護者のニーズを加味して作成

送迎時に保護者との聞き取り等を行うようにし、担当者からの聞き取りを行っている。計画書を作成し、職員に提示し確認をしている。

面談、送迎時、ラインなどで保護者の困りを聞き取り作成している。

13:放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0



記述回答

数名のよく担当する児童支援員とモニタリングを行い共通理解のもとで作成している。

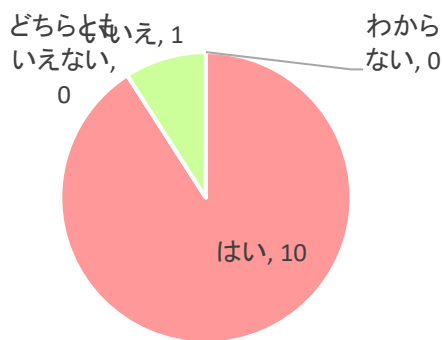
担当者会議スタッフと行う。

担当者会議を開催している。

日々の出来事や子供の希望などは、相談時間ををもうけ、なるべくリアルタイムで吸い上げるようにしている

14:放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	1
わからない	0

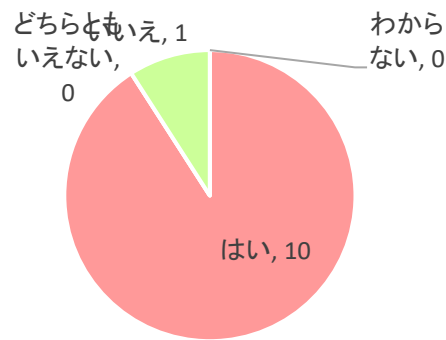


記述回答

計画書が変更になった時は、全職員に周知している。
長期計画、短期計画などを担当支援者に把握してもらうようにしている
毎日活動前に計画を確認して課題を決めている。
利用者の支援ファイルに支援内容を記載共有している。

15:こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	1
わからない	0

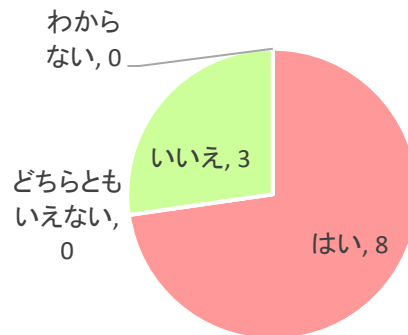


記述回答

事業用のアセスメントにより確認。
日々の細々したことは口答で、振り返りはモニタリング前にしている。
保護者との連絡ノート以外に利用日の様子を記録している。

16:放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。

選択肢	
はい	8
どちらともいえない	0
いいえ	3
わからない	0



記述回答

5領域を網羅する必要性の検討

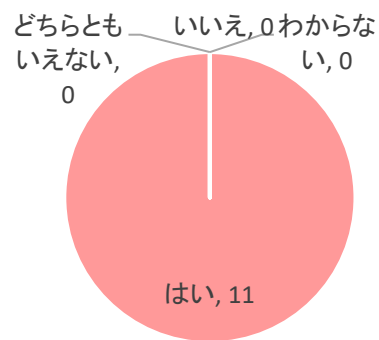
ご家族・利用児に必要とする内容設定に努めている。

一部具体的な支援内容ではないところもある

職員同士で確認している。

17:活動プログラムの立案をチームで行っているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0

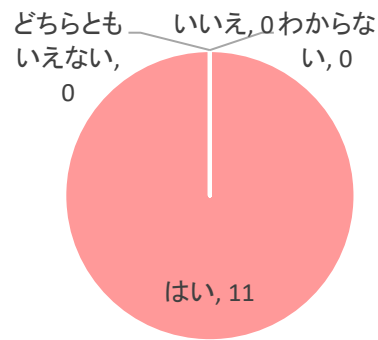


記述回答

5領域を意識したプログラムを複数人で検討し、立案、実行している
ミーティングや日々の話し合いで決めている。
担当者だけで抱えず、広く他の指導員に相談しながら立案を行っている。
療育・制作チームが立案している。

18:活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0

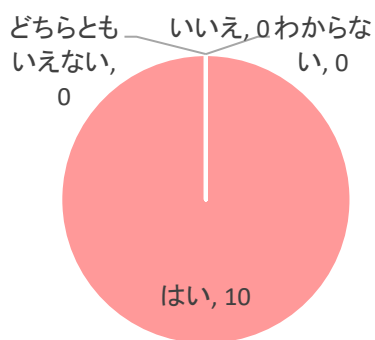


記述回答

季節にあったものを考えて計画している。
固定化しないよう新人スタッフの意見や、インターネットでの情報を取り入れている。
工夫はしていますが、空間や設備的な問題もあってあまりプログラムの幅が広がりません。
地域交流が少ないと感じている。
年間スケジュールの中で行っている。
漏れたり重ならないようにメンバーをチェックをしながら企画している。

19:こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0



記述回答

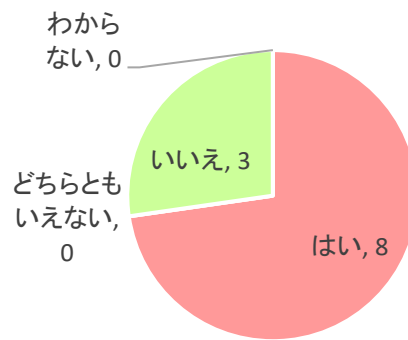
子どもの特性により適宜組み合わせて行っている。

発達段階を加味して考えるが、集団活動では、レベルのあったものにすることが、難しいため、ヘルプの割合で考慮している。

利用時間がそれぞれ違うため思い通りにいかないこともあるができるだけ配慮している。

20: 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。

選択肢	
はい	8
どちらともいえない	0
いいえ	3
わからない	0

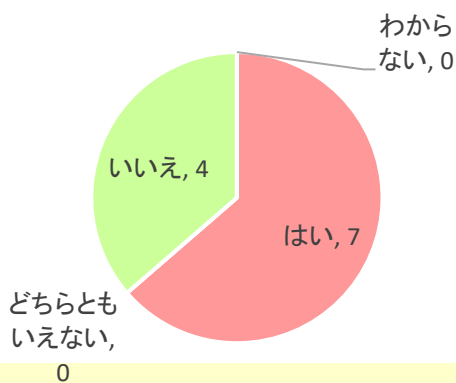


記述回答

支援前に申し送りを行い、支援内容の確認等おこなう。
送迎時間を考慮して早めたり適宜行っている。
送迎出発前に時間があるときは行えているが、必ずではない
日々の打ち合わせ時に行っている

21: 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。

選択肢	
はい	7
どちらともいえない	0
いいえ	4
わからない	0



記述回答	
	0

緊急性のある児童の情報共有などは、振り返りも兼ねて当日、翌日には行うが、全員の支援の振り返りはできていないと感じる。

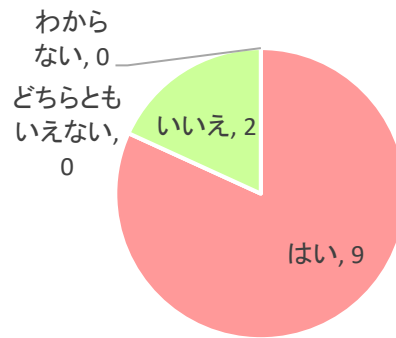
支援中にうまくいったこと、うまくいかなかったことを日々共有し、多くのスタッフがそれぞれのこどもに合った支援ができるようにしている。

送迎車の戻り時間がバラバラなため、その場にいる支援員のみで振り返りを行って、管理者に報告する形をとっている。送迎範囲が広いので定時上がりの指導員と遅く戻ってくる職員がいてバラバラのため全員で行う事はできないが最後に残った指導員とは行っている。

送迎戻りがまちまちなので、メモやプチヒヤリなので、共有するようにしている。利用児の様子を記録し、気になったことは報告している。

22:日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。

選択肢	
はい	9
どちらともいえない	0
いいえ	2
わからない	0



記述回答

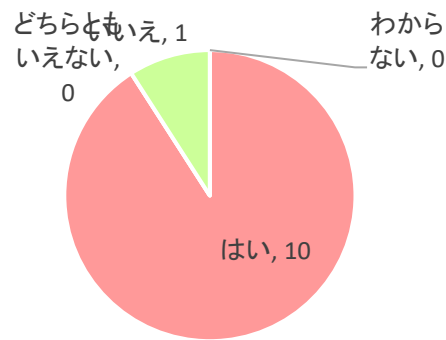
ご家族への記録とスタッフ共有の記録をとる。

日々記録はとっていないが、sstなどの出来具合は残すようにしている。

連絡ノートで記録している。検証は立ち会議で行い、決まった事などはグループラインで共有している。

23:定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	1
わからない	0

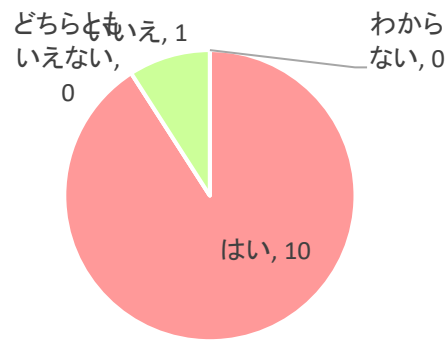


記述回答

sstなどを判断基準にして、目標が高ければ、下げてなど
支援計画作成前にモニタリングを行う。
当該児童に詳しい指導員をメインにして適切に見直している。

24:放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	1
わからない	0

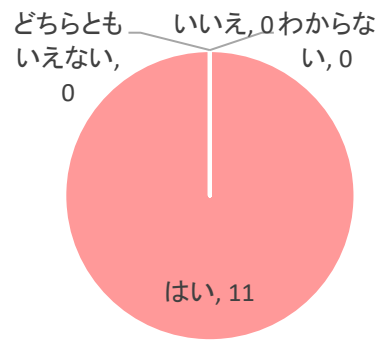


記述回答

地域交流で近くの保育園などとハロウィンイベント
地域交流の機会が少なく、改善が必要
地域交流の機会の提供の取り入れが難しい。
地域交流の機会を提供することが難しく、何かしらの工夫が必要だと思います。
毎月「今月の活動」を子どもたちに提案して一緒に考えて決めている。

25:こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0

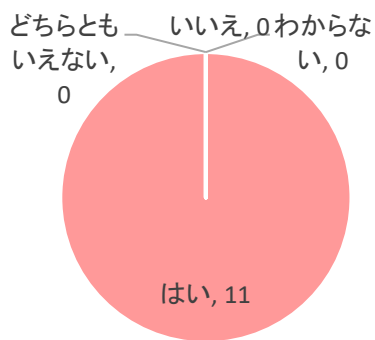


記述回答

可能な限り色々な事を自分で決めてもらっている。
課題やイベントも選択してもらうようにしている。
絵や写真のカードを利用するなど、視覚支援を取り入れています。
自主性を育て、自分でスケジュールを立ててもらう。

26:障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0

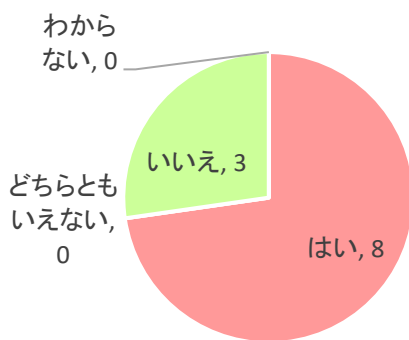


記述回答

ケース会議などは、関係各部署のものが集まり、検討している。
児童発達管理責任者と担当者の参加。
出来るだけ、詳しい指導員が参加している。

27:地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。

選択肢	
はい	8
どちらともいえない	0
いいえ	3
わからない	0



記述回答

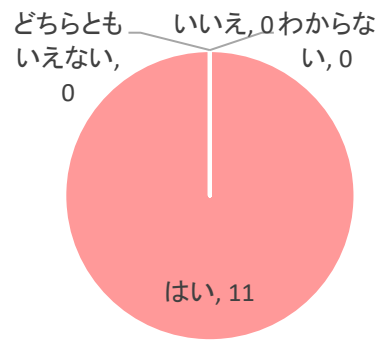
学校サイドは協力的なところと閉ざしてしまっているところがあるため、子どものために情報共有をした方が良い事を認識してほしい。

学校との連携は取りやすいが、医療との連携をとれる手段がほとんどない。

相談員からの招集は優先にして必ず出席している。

28:学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0



記述回答

まだ、あまり協力的ではない学校もあります。地域の放デイ連絡会などで学校体制の改善を求めていけると良いと思います。

下校時刻がわかる予定表をいただけるところと親からきいてくれと言われるところがある。

受け入れてもらえない学校もあるがほとんどの学校とは信頼関係を築いている。

送迎時にその日の様子を必ず聞いている。

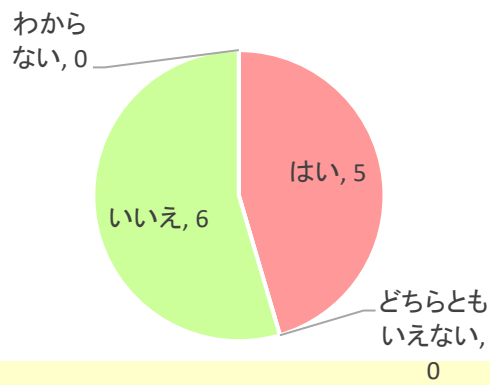
必要に応じて行っているが、学校によっては対応してもらえない場合もある。学校側の都合もあるので難しいところ。

毎月学校の予定表をいただいている。

毎月学校への声掛けを行う。

29:就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。

選択肢	
はい	5
どちらともいえない	0
いいえ	6
わからない	0



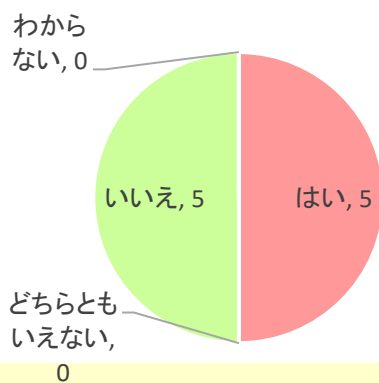
記述回答

中高生利用の放デイなので、ほとんどない

保護者とのやりとりの中で必要に応じて情報共有を行っている連絡を密に取っている。

30: 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。

選択肢	
はい	5
どちらともいえない	0
いいえ	5
わからない	0



記述回答

まだその学齢の利用者がいない

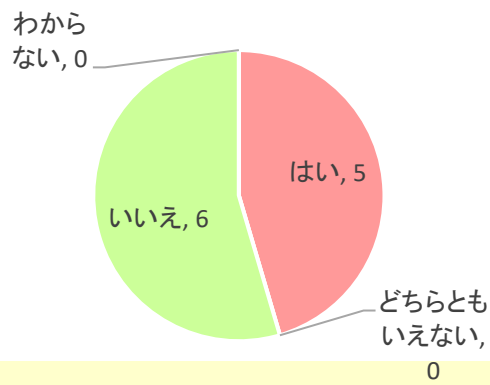
事業所見学をさせていただいているところなどは、わずかだがある。

就労や進学については学校と保護者で行っているが、最近は保護者から相談されることも増えてきた。以前は不向きな就労先に行き、結局合わなくて途中で辞めることがあり、就労先や学校が一言放デイの様子を聞いてもらえたらと思った。

卒業生がまだいない

31:地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。

選択肢	
はい	5
どちらともいえない	0
いいえ	6
わからない	0

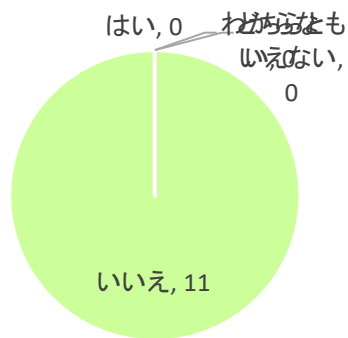


記述回答

職員の方が事業所に来て、研修を行った
発達検査の結果を保護者から受け取った際に、質問などがあれば連絡をとりあう体制を整えている

32:放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。

選択肢	
はい	0
どちらともいえない	0
いいえ	11
わからない	0

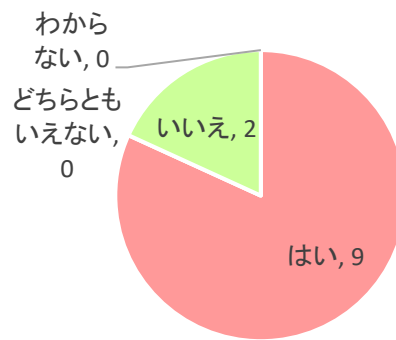


記述回答

学校、児童クラブ、青少年センターに提案書を持って交流をさせてほしいと頼みに行ったが受け入れてもらえなかった。
地域の児童クラブおよび小学校はハードルが高くなかなか応じてくれない

33: (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。

選択肢	
はい	9
どちらともいえない	0
いいえ	2
わからない	0

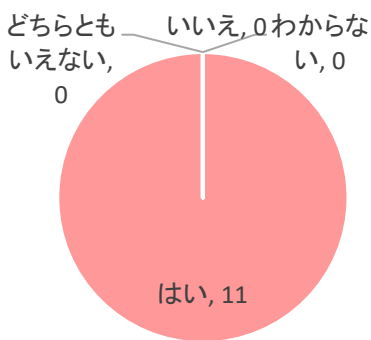


記述回答

児童部会員なので協力できることは頑張っている。
責任者が児童部会に参加している

34:日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0



記述回答

LINEや送迎時に保護者の方とこどもの様子や困りごとについて話し合っている。

契約時に「ラインでいつでも何でもどうぞ」と伝えているので繋がっているが「いつでも」はあまりよくなかったと思っている。

支援の様子を動画や写真で送らせてもらっている。

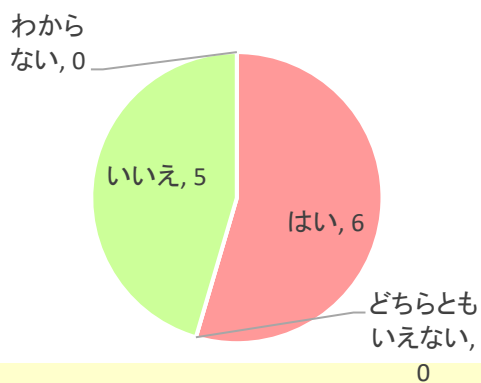
年二回の面談、必要に応じて保護者への報告を行っている。

連絡ノートに限らず、帰りの送迎時に当日の様子をお伝えしている。

連絡ノートやLINEにて保護者との関わりを密に持てるようにしています。また、LINEや電話では保護者自身の相談事にも積極的に耳を傾けて、そこから子どもに関する情報が得られるようにしています。

35:家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。

選択肢	
はい	6
どちらともいえない	0
いいえ	5
わからない	0

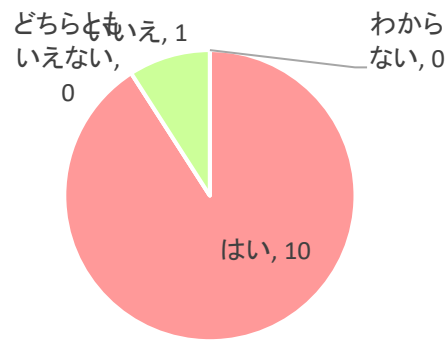


記述回答

企業見学に親子で誘っている。忘年会は保護者や兄弟児も声をかけている。
卒業生なども含めて研修の機会などがあれば、パンフや掲示している。
必要に応じて
必要に応じてアドバイスをを行う。

36:運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	1
わからない	0

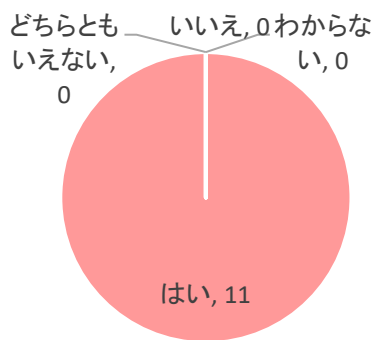


記述回答

契約の時に説明している。利用者負担などについて質問があれば保護者が就労から帰った後自宅に伺う事もある。
契約時に説明している。
福祉の制度がかわってからの概略の説明はした

37:放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0

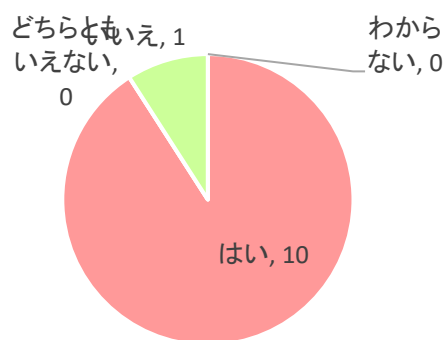


記述回答

面談やアンケートでアセスメントをとっている
面談や忙しい保護者にはシートの記入などで対応している。
面談時に保護者に確認。子供により可能な場合支援の中で確認。

38:「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	1
わからない	0

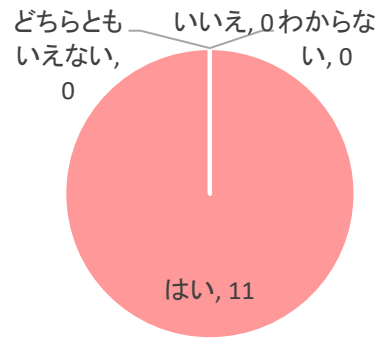


記述回答

計画案を作成して了承を得られれば、その後確定した計画書にサインをいただいている
説明時間を確保することが難しいので改善が必要だと思います。
保護者の予定を聞いていつでも伺うようにしている。
面談時説明同意を頂く。

39:家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0

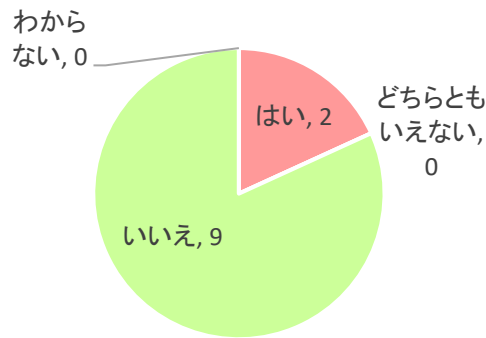


記述回答

LINEを活用することにより、保護者の方が相談しやすいようにしている。
どこまで踏み込んでいいのかわからないことがあるができるだけ聞き取りアドバイスを行っている。
責任者が電話や対面、ラインなどで応じている
働いている保護者の方が多いので、相談事はこちらの業務時間外になることが多いです。
面談時、必要に応じて電話にて対応。

40:父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。

選択肢	
はい	2
どちらともいえない	0
いいえ	9
わからない	0

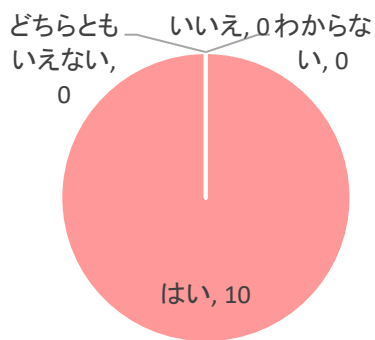


記述回答

コロナなどで中断していたが、再開しようと考えている
コロナまでは保護者会を行っていたが現在はまだ再開していない。
兄弟同士は忘年会に誘っている。

41:子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0

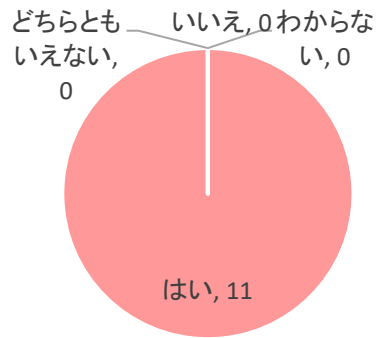


記述回答

契約時に重要と伝え周知している。
指導員にはすぐに報告するように周知しているし、報告があればすぐに保護者に連絡をいれている。
状況を確認して、原因を考え対処している

42:定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0

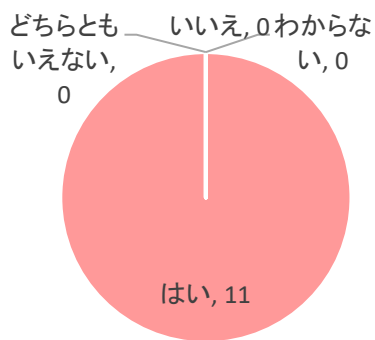


記述回答

毎月、活動の様子を写真付きで通信に載せ配布している。インスタもやっている。
毎月写真などが掲載されている通信を配布している
毎月通信を配布し、ブログやInstagram、X等を活用し情報を発信している。
毎月通信を発行、定期的にSNSにて活動の発信をしている。

43:個人情報の取扱いに十分留意しているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0

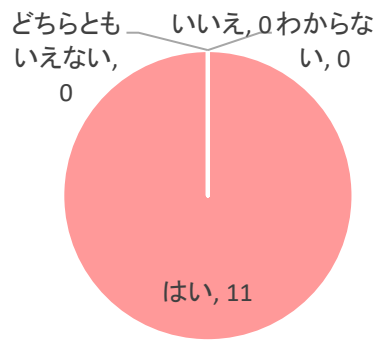


記述回答

契約時説明、同意を頂く。
今後、紙媒体のものをなるべくなくす方向で管理していこうと考えている。
毎月、本部が回収にきている。

44:障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0



記述回答

お手軽なのでラインを使用している。

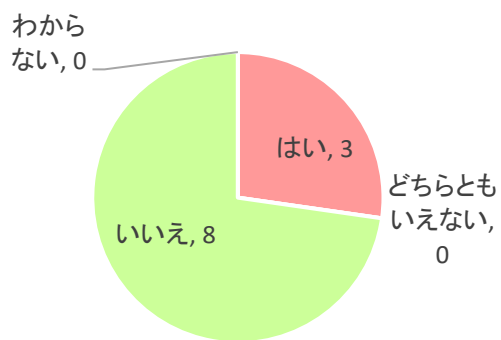
機会あるごとに、情報の提供を行っている。

視覚優位な子には、目でみてわかるように配慮している。

分かりやすい視覚支援や筆談を取り入れるようにしています。また、保護者への伝達事項も、保護者の特性に合わせています。

45:事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。

選択肢	
はい	3
どちらともいえない	0
いいえ	8
わからない	0

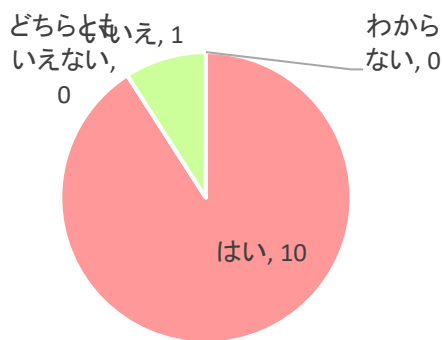


記述回答

すいかわりなど、地域の自治会館を借りる際に草むしりなど協力したり、特養にプレゼントを持って行ったりしている。ハロウィンに近隣の保育園を招待している。近隣の老人施設に表敬訪問や草むしりに行っている。

46:事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。

選択肢	
はい	10
どちらともいえない	0
いいえ	1
わからない	0

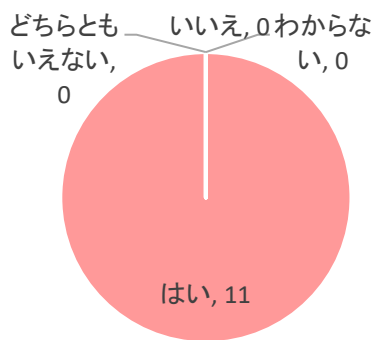


記述回答

マンネリ化しないように形を変え定期的訓練を行っている。
契約の際に詳細は説明している。
研修・訓練を定期的実施している。

47:業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0



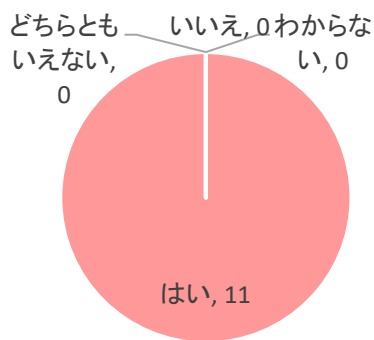
記述回答

実際の訓練の他、動画を利用することがある。
通常の避難訓練にプラスして、帰りの会などで、わかりやすく説明および体験をしてもらっている

年2回実施している

48:事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0

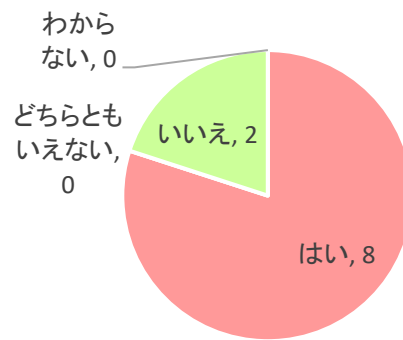


記述回答

てんかんのある利用者については、父兄に細かな対応をきいている。
契約時に服薬についての確認書類を提出してもらっている。てんかん発作のある子どもに関しては学校や自宅で発作が起きたときに状況を確認している。
面談時に服薬確認をしている。

49:食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。

選択肢	
はい	8
どちらともいえない	0
いいえ	2
わからない	0

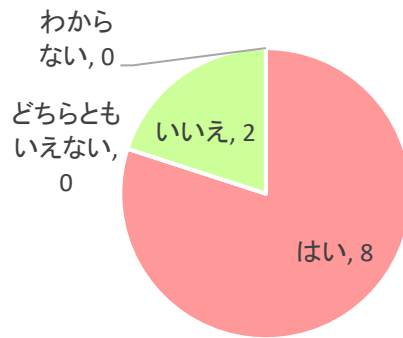


記述回答

契約時に確認している。
今のところ、ひどいアレルギー体質の利用者はいない。

50:安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。

選択肢	
はい	8
どちらともいえない	0
いいえ	2
わからない	0

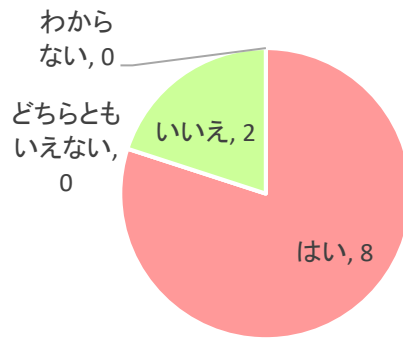


記述回答

夏の遠足を兼ねた防災センター見学などで、研修及び体験をしている

51:こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。

選択肢	
はい	8
どちらともいえない	0
いいえ	2
わからない	0

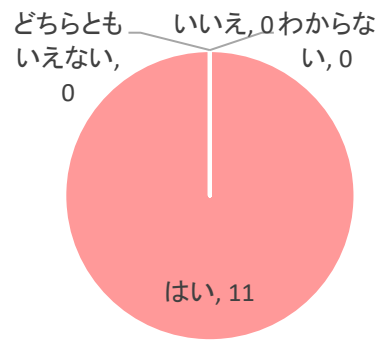


記述回答

契約時に地震、防風、大雪などの緊急時対応の説明をしている。
地震など何かが起きた時はとりあえず事業所で、いなければ、広域避難所に行くことを告げてある。

52:ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0

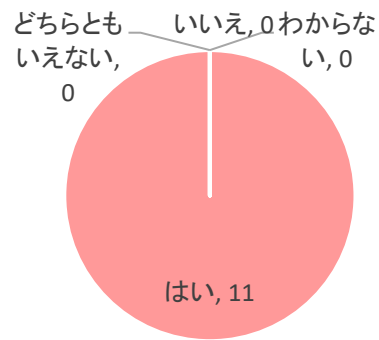


記述回答

ヒヤリハットだけでなく、一歩手前のプチヒヤリから共有している。
ヒヤリハットと同時にプチヒヤリ(もしかしたら危険かも)も情報収集をして振り返りを行っている。
プチヒヤリハットの共有。
事故など起きては不在が、起きる前に注意喚起するためのプチヒヤリも対策として設けている。

53:虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。

選択肢	
はい	11
どちらともいえない	0
いいえ	0
わからない	0



記述回答

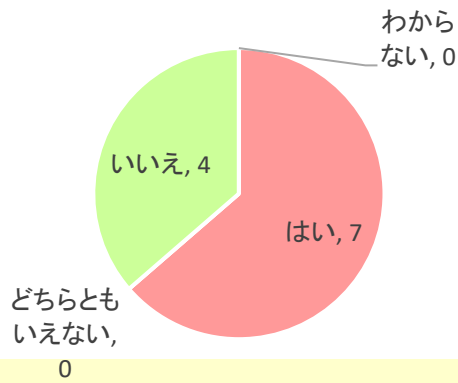
研修などで、周知している。

研修も行っているが、指導員全員で気をつけなんでも言える環境を作るように配慮している。

年2回研修を実施

54:どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。

選択肢	
はい	7
どちらともいえない	0
いいえ	4
わからない	0



記述回答	
	0

身体拘束をする可能性がある子どもの支援計画に、身体拘束を行う可能性がある旨が見当たらない。
他の利用者や職員などに危害が及ぶ場合など
対象児童なし
対象児童なし
保護者に相談をして一緒に考えてもらっている。
保護者への説明はしているが、計画への記載はなし。